

## 令和7年度 第2回堺市東区政策会議 議事要旨

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時  | 令和7年6月27日（金） 午後4時00分から午後5時50分まで                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 開催場所  | 東区役所4階 大会議室                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 出席構成員 | 池崎守、梅井良雄、河合涼子、小谷勝則、小西貢、城岡キヌ子、高落俊次、高木悠里、西川孝弘、福田崇子、正木幸彦、松島亮次、村上美佐子、森本昌子、山本公三<br>（以上15名）（50音順）                                                                                                                                                                                             |
| 参考人   | 佐久間康富 和歌山大学システム工学部教授<br>（堺市東区政策会議開催要綱第7条に基づく関係者として招致）                                                                                                                                                                                                                                   |
| 事務局職員 | 東区役所 立花区長、近藤副区長、水谷東保健福祉総合センター所長、<br>新田企画総務課長、船津自治推進課長、前田市民課長、神谷保険年金課長、<br>村田生活援護課長、新村地域福祉課長、柘植子育て支援課長、<br>企画総務課 友兼課長補佐、井上企画係長、大野主査、植田                                                                                                                                                   |
| 傍聴    | 傍聴人なし                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 次第    | 1 開会<br>2 議題<br>（1）座長の選出等について<br>（2）令和7年度から取り組む事案について<br>（3）（仮称）次期東区ビジョンの策定について<br>（4）その他<br>3 閉会                                                                                                                                                                                       |
| 配付資料  | 資料1 堺市東区政策会議（第3期）構成員名簿<br>資料2 令和7年度第2回堺市東区政策会議 座席表<br>資料3 堺市東区政策会議開催要綱<br>資料4 令和7年度から取り組む事案について<br>資料4 別紙 ひがしふれあい文化祭 概要<br>資料5 （仮称）次期東区ビジョン 骨子<br>資料6 （仮称）次期東区ビジョン 構成及び策定スケジュール（案）<br>資料7 （仮称）次期東区ビジョン 素案（一部抜粋）<br>資料8 堺市東区政策会議テーマ別会議公募メンバー募集（案）<br>参考資料 堺市東区政策会議（第2期）の取組；前回会議配布資料（資料2） |

### 【会議内容概要】

- 1 開会  
（立花区長から挨拶）

- 第3期構成員の皆さまには、地域の皆さま同士のつながりや地域と区役所、関係機関との連携を活かし東区の将来像を描く指針としての（仮称）次期東区ビジョンの策定の向け活発なご議論をお願いします。

また、地域の魅力再発見・発信に向けたひがし歴活とひがし文活の2つのテーマ別会議についてもご協力をお願いします。

ご報告を一件、東区かるたが福岡県大牟田市の資料館（大牟田市立三池カルタ・歴史資料館）に展示されることになった。かるたの紹介に加え東区の紹介もしていただけると聞いている。

## 2 議題

### (1)座長の選出等について

堺市東区政策会議開催要綱の規定により、構成員の互選で座長の選出を行う旨事務局から説明したところ、構成員の一人から「前期に引き続き登美丘南校区の池崎氏にご就任いただきたい。」との発言があり、会議に諮り全員の承認を得た。

また、職務代理については、あらかじめ座長の指名によるとの要綱規定により八下西校区の高落氏が指名された。

#### 【座長就任あいさつ要旨】

- 人の力がすべてを決めるので皆さんとともに「実践と行動」で進んでいきたいと思う。

この政策会議では、東区役所職員の皆さんと協働し、また地域の皆さん・自治連合会も一体となって政策実現に向かって進んでいきたいと考えているので、皆さんよろしくお願いします。

### (2)令和7年度から取り組む事案について

事務局より資料4を基にテーマ別会議を継続して実施することを提示し、構成員にはどちらかの会議に所属していただき、ひがし文活では3つの事業を、ひがし歴活では2つの事業を展開していくこと、またそれぞれの第1回会議を8月に開催したいことを提案した。

次に自治推進課長から資料4別紙を基に、ふれあい文化祭の概要を説明した。

#### 【各発言要旨】

- （座）今期の初回会議として事務局からこれまでの実施概要の説明があった。また次の議題にあるビジョンについても忌憚のないご発言をお願いしたいと考えているので、まず初めに今までお世話になってきた都市計画の専門家でもある佐久間先生、高木先生にご発言願いたい。
- 2つ前の会議体の東区区民会議から東区のまちづくりに関わらせていただいていた。

先ほど事務局からわくわく散策マップの活用があったが、関わった者として懐かしく思うと同時に政策の継続をうれしく思った。この時代、人口減や空き家空き地が増加する中で計画策定を検討する中では、東区がどのようなまちなのかをきっちり形にして次の世代に継承していく、たとえ一時期他都市に住んでも、例えば子育ての時期に東区がいいなと思って帰

ってくるような魅力の見通しができるようなまちを目指す視点が大切。今まで継続している政策項目の文化・歴史についての地域らしさをうまく表現し、それを若い人たちや子どもたちと共有していくことで次々の世代に継承していく大事な取り組みである。

東区かるたについても、まちの風景がとらえられていて、まちづくりを所掌している者としては、住んでいるまちの風景について世代を超えて共有できる形あるものとして評価する。

ぜひとも形にしたものを次につなげていく取り組みを進めてほしい。

- 私は第2期からテーマ別会議にも参加させていただき、歴史を探したり文化を発信したりしたことが目に見えて次につながってきていることを評価している。文化祭がインパクトを与えるタイミングと思っているが、企画内容を検討することについて正直、この政策会議も含めてこんな面倒なことを皆さんは面倒がらず積極的に対応していることに敬服していてこれが東区らしさかなと理解している。このような姿が歴活、文活の活動成果として顕れていると思う。

昨年から東区の歴史や文化村について、また文化活動されている方にヒアリングして例えば文化祭で皆さんと成果共有したいと思っており、調査したことを使ったコミュニケーションを学生と一緒にしたいと考えている。学生たちには、東区の良さを評価して住み続けたいと思えることを今の20歳代では早いかもしれないが30歳、40歳代になってもそう思えることにつなげていくことが大事なのでそのようなことをこの第3期で行動したい。

- 昨年の文化祭で校区子どもたちと制作した絵画シートを展示していただいたが、このシートは10年持つと思うので10歳の子どもたちが20歳になっても観られると思う。

シートを展示した大津池に防災事業で購入した蓄電池を電源にLEDイルミネーションを飾ったところ地域で評判になった。そのほか、害虫の影響で伐採した桜のあとにアジサイを植栽したり、珍しいプランクトンや飛来してくる鳥や堤の草花など大津池写真展も今秋に開催をしたり大津池の環境保全を考えている。また人工芝も広げたので常設テントの建設も考えている。

- (座) 東区にはため池が多いので大津池を先導役にしていただければと思う。ふれあい文化祭で写真を展示していただきたい。昨年の文化祭では、白鷺校区と登美丘東校区の子どもたちの夏休みの活動成果を展示させていただいた。登美丘東校区におかれては今年度はいかがか。

- 今年度も引き続き子どもたちの書道を8月9日(土)に実施する計画である。

昨年は、子どもたち一人1字で文化祭で展示していただいたが、今年は参加人数もあることからどんなテーマにするかは未定。これ以外の活動については、少なくなってきた子どもたちを地域で支援したいと思っており、保護者も一緒に参加していただけるような盆踊りや防災訓練を考えている。

- (座) 文化祭について、海外姉妹都市のウェリントン市(ニュージーランド)の子どもたちの絵画の交流(ウェリントン学生絵画展の開催)が堺市との間であるが、海外の子どもたちの【全員、了承】

### (3) (仮称) 次期東区ビジョンの策定について

事務局より、資料5から資料7に基づき地域の皆さんとともにめざす区の将来像や取り組

む施策の基本方針の策定について提案。区民の皆さんが我が事として捉えていただき納得と共感をもって読み込んでいただきたいとの思いから、今回からビジョンと称することを報告。

#### 【各発言要旨】

- (座) 今回のビジョンについては、玉虫色ではない東区の特徴を打ち出せたらと思っている。東区全体を見据えてプラスになる政策をこの会議に載せたいと思う。本日は皆さんには持ち帰っていただき、じっくり吟味していただきたい。政策施策には当然にプラスがあればマイナスもあるわけで、そこは行政との協働の鑑を東区から見せたいと思っている。偏った要望ではなく、将来を見据えた東区の姿の在り方をテーマとして策定したいと考えている。
- 次につなげていくことの大切さを認識した。行事を親子で参加すると親から子への継承になると思うので、かるたについてもかるた大会を継続して実施することが必要。
- 朝のみまもり隊は機能しているが昼からの体制維持が難しいという悩みがある。
- 前回ビジョンはどの範囲まで配付したのか。
- (事) 全戸配付はせず市政情報コーナーなどに配架し、策定時点で広報東区版や東区のホームページなどでお知らせした。
- (座) ビジョンに挙げている施策は実現しており、今回予定のビジョンも実現する決意である。
- 読めば読むほど詳しくまた味のある内容だと思っているが、手に取って読みたいと思えるかというのが課題と思う。読みやすいものが良い。
- (事) 次期ビジョン冊子は頁数を削減し、記載内容やデザインなど工夫する。
- ビジョンについては総花的ではなく今までの事業の継続と新規事業によって住み続けたいと思える内容が示されればうれしい。行政に頼るのではなく、地域、校区自治連合会等の創意工夫と改革で一つ一つの行事（事業）を進めていくことが次期のビジョンにつながっていく。  
以前の会議で「人が住み続ける限り地域は続く」との発言があったが、みんなでいいまち創ろう、いいコミュニティを創ろうという方向性でビジョンが策定されればと思う。
- 地域のつながりの観点でいうと、校区自治連合会主催の運動会では多世代の交流があったがコロナ禍でいろんな行事が途絶え、地域のこどもたちにも声掛けを躊躇するようになった。盆踊りと秋祭りが続いているので地域のつながりが保持されているようだ。
- 自分の校区では30年前ほどに盆踊りがなくなったが最近、若い住民から復活したいということで盛り上がり始めている。
- 場所などの関係でできない町会もあり合同で実施したいがなかなか実現できていない。
- (座) イベントの実施で地域のつながりが醸成すると思うが、事業費や運営などの課題がある。  
良い案があれば共有したい。この項について専門家の先生方にご発言をお願いしたい。
- 今回のビジョン骨子については骨子としてはおおむね良いと思う。現行のビジョンの冊子14ページにある基本方針の構成を参考にして資料5の今回のビジョン骨子の右半分を確認すると、安全・安心で4つの取組分野、教育で子育てと教育の2つの取組分野となっており、力を入れる分野と理解できる。区で実施する項目と市で実施する項目と、役割分担に区としては

悩みながら取り組んでいると思うが、区が取り扱える項目に重点が置かれたと思う。

安全・安心の項の防災、防犯、健康、福祉についてはすべて人に関わる項目となっていることなど、骨子としては良いと思うし、資料7についても分厚くしない方針からこのようにしたということが理解できる。

東区らしさ、わかりやすくとの意見があり、一例だが現行ビジョンのコラムに写真が掲載されているように、人に着目するなら活動している人の顔が見えるような工夫をすればよい。

また最近では、行政だけでなく地域が作成するビジョンの中には、写真集のようなビジョンやショート動画を活用した若者が手に取りやすいビジョンというものもある。行政としてまとめる資料とわかりやすい発信の仕方、まとめ方があってもよい。

- 今回の3つのキーワードについてはこれまでの会議で合意してきた。一方で歴史・文化芸術については、アンケート結果では低い結果となっている。歴史や文化芸術という一般印象としては専門家として捉えられているからかなと思っているがとはいえ、しっかりと打ち出していくということを理解している。

文化のとらえ方だが、文化財的なことではなくて私たちが東区で暮らしている、東区らしいということを文化と位置付けることが必要で、このことは冊子のわかりにくさに通じる。

私たちは東区を愛している、住み続けたいと思っている、地域で大事にしているものがあるというようなことをきちっと打ち出していくのかなと思う。

そのような中、皆さんの活動などを評価して聞いているが、冊子には学生と一緒に（行政も参加して）に活動されている方々にインタビューした内容に（掲載できるかどうかはあるが）インタビューの（顔が見える）状況写真を採用するのもありと思う。それも文化だと言える。

- （座）文化の解釈については、例えば素晴らしい絵画というよりは絵を描くことそのものが文化。安全・安心であることそのものも文化。広義の文化、教育ととらえて、安全・安心があつてのうえに成立する。先生の発言にあったように、アンケートを取ると絵画の鑑賞とかを文化ととらえている可能性が高いと思う。先生方には、本日の皆さんの発言も踏まえて区役所担当と次の会議までに議論内容などを調整していただきたい。

#### (4)その他

事務局から、資料8を基にテーマ別会議の公募メンバー募集について提案。

##### 【各発言要旨】

- (座)事務局からの提案を実施するということでよいか。また学生たちの参加もお願いしたい。

##### 【全員、了承】

### 3 閉会